

国際ランド&ディベロップメントが茨城県坂東市において EPC業務を担当した太陽光発電所 「ソーラーパワープラント坂東」(約 1.6MW)が竣工

グリーン・コミュニティの実現を目指す日本アジアグループ傘下の国際ランド&ディベロップメント株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金丸 直幹、以下「国際L&D」)がEPC(設計・調達・工事)業務を担当した茨城県坂東市のソーラーパワープラント坂東が竣工いたしました。

本施設は有限会社丸義興産(本社:東京都足立区、代表取締役社長:杉本 義幸)様が、保有する約27,260 m²の土地に、出力約 1.6MW(一般家庭の約 490 世帯分相当※)の太陽光発電所を設置したものです。国際L&Dは東京電力への各種許認可業務を含めた EPC(設計・調達・工事)を担当し、事業推進をサポートしてまいりました。稼働後は本施設のO&M(運営管理)業務を行う予定です。

国際L&Dは、不動産事業に環境・太陽光発電事業を組み込んだ「グリーンプロパティ」サービスの提供を通じて、安全・安心で災害に強いまちづくり、地域社会やお客様の資産価値向上と環境価値の創出に取り組んでいます。

※住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量:3.0~3.5kW(当社調べ)



現地の様子(平成 26 年8月 12 日)

■ ソーラーパワープラント坂東の概要

所在地	茨城県坂東市長谷
事業主	有限会社丸義興産
EPC事業者	国際ランド&ディベロップメント株式会社
敷地面積	約 27,260 m ²
想定出力	約 1.6MW
パネル種類	単結晶
パネル枚数	6,272 枚
パネルメーカー	東芝製
稼働時期	平成 26 年8月

【国際ランド&ディベロップメント株式会社について】 <http://www.kld.co.jp/>

国際ランド&ディベロップメント株式会社は、その前身である国際航業株式会社の不動産事業部門として1947年の創業以来、67年間にわたり不動産の開発・運営管理、環境対策、住宅供給などの事業を国内外で実施してきました。

近年は、従来の不動産サービスに加え、再生可能エネルギーの活用、省エネ・蓄エネといったエネルギーソリューションサービスを提供し、低炭素社会の実現に向けた総合的な取り組みを「グリーンプロパティ」と定義しサービスを拡大しています。

特に再生可能エネルギー活用分野においては、太陽光発電システム導入のシステムインテグレーターとして、オーナーや事業主の立場にたった総括的な視点から、設計・調達・工事（EPC）・運営管理（O&M）の業務をワンストップで提供しています。

【名 称】 国際ランド&ディベロップメント株式会社

【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地

【資 本 金】 1億円

【業 務 内 容】 不動産開発・賃貸、不動産・建設コンサルティング・設計・工事
アセットマネジメント・プロパティマネジメント
太陽光発電の導入支援・EPC・O&M、エネルギーソリューション

【事業に関するお問い合わせ先】

国際ランド&ディベロップメント株式会社 企画部 TEL 03-3262-6091 URL : <http://www.kld.co.jp/>